

県道岡山赤穂線(3 工区)道路改良工事に伴う事業損失補償算定業務委託(7-1)
業務仕様書

1.業務の目的

県道岡山赤穂線の工事は施工途中であり、今後約 10 年間の施工期間が見込まれている状況下にあつて、事業が長期化するため、現時点で工事の影響により発生している損失に対する補償算定を行うことを目的とする。

2.事業損失の概要

1) 井戸配管メンテナンス費用の増加

①影響内容

現地事業者の井戸の地下水取水配管に鉄分等が酸化した結果スラグが蓄積するが、その除去を通常 3 年に 1 回としていたのが 500 日に 1 回、1 年未満に 1 回と短くなっている。

②分析結果

イオン分析において、ナトリウムイオンが 2 ～ 3 倍に増えている。道路改良工事で使用した地盤改良材の影響でアルカリ性のナトリウムイオンが増えたことにより配管鉄と反応して析出物となりスラグが増えた可能性がある。

2) スラグ蓄積による取水障害及び井戸配管メンテナンス期間中の上水道使用量の増加

①影響内容

上記 1) の影響発生に伴い、井戸水を取水し難い状況となり、No.4 井戸の不足する水量を上水道で補水した場合、通常より使用量が増すことが考えられる。また、メンテナンス中においては井戸水の取水ができないことから、上水道による補水を必要とする場合があると考えられる。

②分析方法

工事前に No.4 井戸で使用されている 50 mm 径の水道使用量を調査し、メンテナンスに必要とされる期間の使用量との対比を行って、影響の度合いを把握するものとする。

3.補償算定項目

1) 維持管理費の増加費用

①配管メンテナンス費

補償時点までの過剰と認定されたメンテナンス費用 × 後価率

②増加上水道使用料

配管メンテナンス時及びスラグ蓄積時に過剰に要した水道費用 × 後価率

2) その他経費

配管メンテナンスに伴い必要となるその他の経費